

平成 27 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

保健福祉部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1. <u>危険ドラッグの現状について</u> (一般質問：本郷議員)	危険ドラッグを起因とする事件、事故や急性中毒などのケースは市内にない。 今後の対応については、これまでの食の健康フェスタ等における <u>周知啓発のほか広報メロディー</u> やホームページを通じて危険ドラッグを使用しないよう周知を図る。	<u>広報メロディー7月掲載予定</u>
2. <u>地域福祉会館の駐車場及び会館室内の LED 化についてどう考えているか。</u> (予算特別委：桜井議員)	運営の厳しいなか、重要と考えている。 <u>地域福祉会館運営等会議のなかで、協議していきたい。</u>	10 月以降に開催予定の地域福祉会館運営等会議において協議していく。

平成 27 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

経 済 部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
プレミアム商品券の発行について 市内の広い範囲で、市民の皆さんが購入しやすい体制にするべきではないか 地域の郵便局を活用したらいいのではないか また、電話などで予約できる様にしたらいいのではないか	市民の皆さんが購入しやすい様に広い地域で発行できるよう検討してまいります。	びばい商品券協議会と協議をした結果、ホテルスエヒロ (4月15日10:00~19:00)、 峰延農協、南美唄コミュニティーセンター、東明西福祉会館、日東福祉会館、西美唄福祉会館、中村福祉会館、茶志内中央福祉会館、 (4月15日10:00~15:00) 市内8か所で販売をすることとしました。 4月号メロディーで周知、また新聞折り込みにより周知予定。 また、電話による予約受付については、協議会側が、事務の混乱を招き、困難であると難色を示していることから行わないこととしました。

平成 27 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

都市整備部

質問要旨	答弁要旨	具体的対応・スケジュール
○ 30%料金引き上げという市民負担の重さについて。 ○ 引き上げ時期を 10 月分からという設定について、市民への丁寧な説明責任を果たせるのか。 ○ 生活保護世帯に限られている減額措置について、生活保護基準同様な基準以下で生活している弱者への拡大等が必要なのではないか。 (水道事業審査特別委員会： 吉岡委員)	水道事業経営の安定化を図るため 30%という決して低くはない改定率と考えているが、基本料金の設定については、少量使用者に対する配慮を行いつつ設定している。 これまでの議会議論を踏まえ、10 月までの間に自治組織代表者会議やまちづくり懇談会などで説明するほか、市民説明会を開催し理解をしていただく。 生活弱者に対しての減免制度については、今後、減額基準の設定など、他市の状況を参考にし検討する。	市民説明会の日程等について調整する。 調査、検討を行う。

平成 27 年第 1 回市議会定例会における主な課題と対応

教育委員会

質問要旨		答弁要旨	具体的対応・スケジュール
1	学校統廃合の考え方について。 (一般質問：吉岡議員、森川議員)	現在、教育委員会議で協議中。一定の考え方を取りまとめる予定。総合教育会議の中でも協議されると考えるが、慎重に検討したい。	教育委員会議において、年内に結論を得る。 並行して、総合教育会議において協議を行う。
2	就学援助制度における新 3 項目（クラブ活動費・生徒会費・PTA 会費）の実施に向けて取り組むべき。 (一般質問：吉岡議員)	新 3 項目について、国への予算措置の要望を継続しつつ、他市の状況、本市の財政状況を踏まえ、優先項目ごとの実施も含めて、予算化に向けてさらに検討する。	H28 予算編成に向け検討。 3 項目のうち、優先すべき項目についても検討。
3	学校図書費に係る地方交付税額に対し予算額が少なすぎる。増額すべき。 (一般質問・予算特別委：吉岡議員)	学校図書館は、読書センター、学習・情報センターとして重要な機能を有している。今後、学校図書の充実に努めていく。	H28 予算編成に向け検討。
4	図書館の図書購入費が道内 34 市中 32 位では少なすぎる。充実すべき。 (予算特別委：丸山議員、吉岡議員)	図書館は、市民の学習の場、研究の場として、非常に大切な施設。今後も図書資料の充実に向け努力したい。	H28 予算編成に向け検討。
5	学校給食における食物アレルギー対応食を提供できないのか。 (一般質問：谷村議員)	現在の学校給食センターでは、専用調理室の設置や人的配置の充実等は困難。今後も、原因食材の除去や家庭からの持参等により対応したい。近隣でアレルギー対応食の対応をしている自治体があるので、視察研修したい。	江別市でのアレルギー対応食の状況を視察、研修する。(H27 年 7 月中)
6	サイクリングロードの存廃とサイクリングコース設定の考え方。貸自転車の活用方法。 (予算特別委：吉岡議員)	サイクリングコースは、観光の視点も含め、関係課と協議していく。貸自転車の活用もその中で検討。 サイクリングロードの存廃は、コース設定とともに、年度内に、総合的に検討する。	4～7 月 都市整備課、商工観光課、農政課、スポーツ推進委員等と協議。 コース案設定。 8～9 月 警察署、国道・道道管理者等と協議 10～11 月 コース設定、サイクリングロード存廃の方針決定。 12～3 月 事務手続。市民周知